

米国メキシコ湾「WC552鉱区」における天然ガスの発見について

記者各位

当社(社長:西尾 進路)の石油開発部門である新日本石油開発株式会社(社長:古関 信)が100%出資する米国法人Nippon Oil Exploration U.S.A. Limited(以下、NOEX USA)は、権益保有者兼オペレーター(操業主体)として試掘を行っていた米国メキシコ湾のWest Cameron 552(WC552)鉱区において、商業化可能な量のガス層を発見しましたのでお知らせいたします。

今回、試掘に成功したWC552鉱区は、ルイジアナ州の沖合約180キロメートル、水深約60メートルに位置しております。NOEX USAは同鉱区権益の80%を保有しており、同鉱区のオペレーター(操業主体)として昨年12月に試掘井を開坑いたしました。その後、深度約4,600mまで掘削を進めた結果、天然ガス層を発見、現在、早期の生産開始に向けて開発計画を準備しております。今後の掘削結果次第では更なる埋蔵量の増加も期待されております。

当社グループではNOEX USAを1989年に設立以来、テキサス州ヒューストンを拠点として米国メキシコ湾湾岸地域を中心とした石油・天然ガスの探鉱・開発事業を推進してまいりました。昨年5月には米国独立系大手石油開発会社であるアナダルコ社からメキシコ湾深海部で生産中のK2油田権益の一部を買収した他、昨年7月には米国メキシコ湾のSouth Marsh Island 44(SM44)鉱区における試掘により、2つの油・ガス層を発見し、12月より天然ガスおよびコンデンセートの生産を開始しております。現在、当社は米国において38の生産油・ガス田を保有しており、うち18の油・ガス田ではオペレーターとして自ら操業を行っております。

当社グループは、生産中の油・ガス田が多く、かつ今後の探鉱、開発余地も大きい米国メキシコ湾を、石油・天然ガス開発における重点地域の一つと位置付けております。今後も、埋蔵量が豊富な同地域での事業を更に拡充するとともに、その他のアジア、オセアニア及び北海等の重点地域においても積極的に事業を展開してまいります。

以上

 [鉱区等の概要](#) (48.9KB)

 [保有鉱区位置図](#) (88.2KB)